

名称：大腿骨頸部骨折の早期手術割合

指標番号：

QIP：2114

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日：2020-06-22

指標群：整形外科

名称：大腿骨頸部骨折の早期手術割合

意義：適切な手術時期

必要データセット：DPC様式1

定義の要約：

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

分子：分母のうち、入院2日以内に手術を受けた症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

#### 分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3：

このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

#### 分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K0821	人工股関節置換術	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4：

入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

#### 分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:  
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

**分子の定義:**

1:  
分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

**薬剤一覧の出力:** false

**リスク調整因子の条件:**

**指標の算出方法(説明):** 分子÷分母

**指標の算出方法(単位):** パーセント

**結果提示時の並び順:** 降順

**測定上の限界・解釈上の注意:**

1:  
ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する (Grade B)

**参考値:**

**参考資料:**

1:  
大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版

**定義見直しのタイミング:**

**最終更新日:** 2020-06-22